



たかむく 2024

明章小学校
学校だより 11号
令和6年9月26日

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果より

4月18日に6年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。学校では、今回の結果をもとに教育活動の改善と工夫に一層取り組んでまいります。

★教科に関する調査結果から【◎；大変良好 ○；良好 △；もっとがんばりましょう】

分類	区分		県との比較	全国との比較
国語	全体		○	○
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	△	△
		(2) 情報の扱い方に関する事項	△	△
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	◎	◎
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	△	△
		B 書くこと	◎	◎
C 読むこと		△	○	
評価の観点	知識・技能	△	○	
	思考・判断・表現	○	○	
算数	全体		△	△
学習指導要領の領域	A 数と計算	△	○	
	B 図形	△	△	
	C 測定			
	C 変化と関係	○	○	
	D データの活用	△	△	
評価の観点	知識・技能	△	○	
	思考・判断・表現	△	△	

平均正答率を見ると、国語は全国・県と比べて概ね良好ですが、算数はもっとがんばりましょうという結果になりました。算数を苦手とする児童が多いという結果は、今年の傾向と同じです。

【国語について】（◎良好なこと △もっとがんばってほしいこと ※改善点）

◎目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができていました。

◎日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いていました。

△目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができていませんでした。

△漢字を文の中で正しく使うことができていませんでした。

「きょうぎ」「なげる」

△物語文を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書くことができていませんでした。

※自分の考えやまとめたことを発表する授業を充実させます。聞き手の状況に応じて、自分の考えが伝わるように、資料を活用するなどして表現を工夫するようにしていきます。聞き手の興味・関心や聞き手がもつ情報量を予想し、どのような資料を用意すればよいか考えたり、聞き手の反応を確かめながら表現できるよう、やりとりの練習を行ったりします。

※漢字指導を見直します。意欲をもって学習に取り組み、しっかり使えるように指導していきます。

※物語文の学習では、登場人物の行動や会話などについて、暗示的な表現の仕方にも注意して登場人物相互の関係と結び付けながら想像したり、場面の様子と登場人物の心情の関係に着目したりするなどの学習活動を充実させていきます。

【算数について】(◎良好なこと △もっとがんばってほしいこと ※改善点)

◎数量の関係を、□を用いた式に表すことができていました。

◎五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書くことができていました。

△直方体の見取り図について理解し、書くことができていませんでした。

△球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができていませんでした。

△円グラフや折れ線グラフから必要な数値を読み取って解く問題ができていませんでした。

※算数の用語を形式的に使わせるのではなく、具体的な内容の学習を通して用語の意味や内容が十分に理解させるようにします。同じように、公式の意味を理解して使えるようにします。

※統計的な問題解決の方法を進んで生活に生かすための授業に取り組みます。児童の身近な場面から、解決すべき事柄や調べてみたい問題を設定し、目的に応じてデータを集めたり、分類整理したりすることができるようにします。

★児童質問紙調査から

全国学力調査では、「生活習慣や学習環境による質問紙調査」も行われました。ほとんどの質問で、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均よりも高いという結果でした。課題としては、昨年同様「平日、休日ともに学校の授業時間以外に勉強している時間が少ない」ことが挙げられ、友達と遊ぶ割合も高いのですが、SNSや動画視聴などを行っている時間がかなり長いです。平日に2時間以上と答えた児童の割合は、県の平均32.9%、国の平均33.8%ですが、本校は64.3%となります。

「将来の夢や目標を持っていますか」に対しては、85%の児童が持っていると答えています。夢をかなえるために必要なことは何なのかを考え、自分のためになることに取り組む時間が増えるように指導していきます。